



※21世紀の保育のキーポイントが網羅され、保育のあるべき姿がわかる、これまでにない画期的なシリーズです。
 ※各分野の第一級の著者陣が「電車の中で読める！」をキャッチフレーズにやさしくわかりやすく解説してくれます。

21世紀保育ブックス①

新しい教育要領・保育指針のすべて

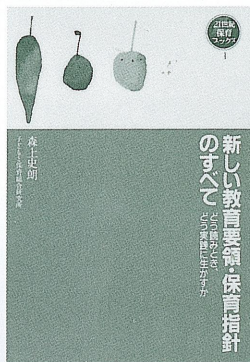
どう読みとき、どう実践に生かすか

最新刊

森上史朗／著

新教育要領・保育指針が4月から実施されていますが、現場の受けとめ方は必ずしも一様ではなく、多くの問題があることが指摘されています。新教育要領・保育指針を正しく認識し、保育者それぞれが実践へとつなげていくための考え方を提示しています。

B6判・184頁・定価：本体1,200円＋税



21世紀保育ブックス②

新時代の保育サービス

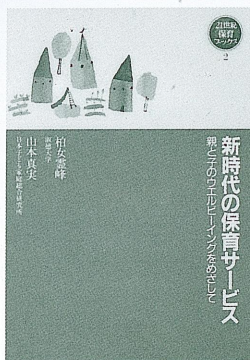
親と子のウェルビーイングをめざして

最新刊

柏女霊峰・山本真実／共著

時代の変化を受けて、保育サービス・保育所のあり方についても新しい方向性が模索されています。本書では、多岐にわたる視点から保育をめぐる現状や保育サービスの動向を捉え直し、今後の保育サービスのあるべき方向性について提言を試みています。

B6判・184頁・定価：本体1,200円＋税



キンダーブックの
フレール館